

令和5年度 学校教育方針

京都市立山科中学校

◎学校教育目標

『「生きる力」を身につけ、心と知性ある豊かな人間を育成する』

山科の心 ～折れない心、熱い心、優しい心～

1 学校経営方針

- (1) すべての学校教育活動において生徒の命を守りきる教育実践に徹する。～いのち～
- (2) 学校が生徒にとって安心・安全な活動場所であるためにも、常に危機意識の下、組織的な対応を進める。～いのち～
- (3) 人権尊重を念頭に、あらゆる教育活動に最善を尽くし、学校に活気と笑顔が満ちあふれる風土を創る。～よりそい～
- (4) 生徒個々の多様性を理解し、個性伸長に努め、誰一人取り残さない教育活動を進める。～よりそい～
- (5) 教職員としての職責を自覚し、組織的な指導体制（チーム学校）を構築することで生徒が安心して学べる学校風土を創る。～つとめ～
- (6) 心の教育を充実させ、あらゆる場面で豊かな心と規範意識・自尊感情を育てる。～ひろがり～
- (7) 「いじめは絶対に許さない」理念のもと、教職員総体でいじめ根絶に向けた教育実践に努める。～いのち～
- (8) カリキュラム・マネジメントの視点をもって9年間の小中一貫教育を推進し、学習指導要領が目指す確かな学力の定着を系統的に推進する。～ひろがり～
- (9) 調和のとれた生活習慣を身に付けさせ、心身の健やかな成長と健康の保持増進、体力の向上に努める。
- (10) 公立学校としての使命と期待を理解し、学校と家庭、地域の連携・協働を深め、信頼される学校づくりに努める。～つながり～

2 目指す生徒像

- (1) 地域の伝統と文化を受け継ぎ、今後の自分が生きる未来を創造できる生徒
- (2) 様々な学びを生かし、社会や家庭で自分の役割を果たしながら、自分らしい生き方を探究できる生徒
- (3) 多様な価値観を認め、他者と共生、協働し合い、学び合え、人権という普遍的な文化の扱い手となる生徒
- (4) 自分も他人も、そして地域も大切にできる生徒
- (5) 基本的な生活習慣と規範意識を身につけ、礼儀正しく自ら挨拶ができる生徒
- (6) 自らの健康保持・増進を心掛け、体力の向上に努めることができる生徒
- (7) 様々な学びを生かし、自分らしい生き方を探究すると共に、社会や地域に貢献できる生徒
- (8) 多様な情報を正しく理解し、適切な判断の下で情報社会を生き抜く生徒

3 目指す教職員像

- (1) 教職員としての職責を自覚し、社会的責任と教育公務員としての責務が果たせる教職員
- (2) 自らの姿勢を通して、生徒や保護者、地域と望ましい人間関係が築ける教職員
- (3) 社会の変化を捉えながら、自律的かつ継続的、探究的に学び続ける教職員
- (4) チーム山科の一員として常に妥協することなく、カリキュラム・マネジメントの視点をもって教育活動に励み、生徒と共に感し合える教職員
- (5) 人権教育の視点に立ち、いじめや差別のない学校づくりに努める教職員
- (6) 学習指導要領が求める授業力向上に向け、常に課題意識を持ち、自らの専門性を高める教職員
- (7) 現状に満足することなく常に向上心をもって自己研鑽に努めると共に、働き方改革を理解し、意識改革を進める教職員
- (8) 生徒一人一人の姿を丁寧に見取り、誰一人取り残さない教育実践と個別適切な支援を推進できる教職員

4 重点目標

- ・学習指導要領が示す授業の在り方を再確認すると共に「指導と評価の一体化」のさらなる充実に努める。
- ・授業と家庭学習との連動を通して、自学自習の習慣化と基礎的・基本的な学力定着を図る。
- ・あらゆる教育活動を通して自ら学ぶ力と自ら律する力を高める取組を推進する。

- ・道徳教育の充実を図ることにより、自他を大切にする人権尊重の精神と態度の育成に努める。
- ・困りや悩みを抱える生徒一人一人に寄り添い、個々に応じた就学支援・教育支援を組織的に展開する。
- ・ウイズ・コロナの下、計画的な教育活動の実践と緊急的な状況への適切な対応により教育活動の維持・継続に努める。
- ・GIGAスクール構想の下、ICT機器の効果的な活用により生徒との「つながり」を充実させ、生徒一人一人の個別最適な教育活動を保障する。
- ・生徒個々に応じた望ましい運動習慣の定着と体力向上に向けた環境づくりと実践に努める。
- ・あらゆる場面での危機意識を教職員組織に醸成し、生徒を危険から守りきることに努める。
- ・「働き方改革」の方向性を理解し、教職員組織として意識した実践と改善に努める。

